

# 松戸市

# 保健師

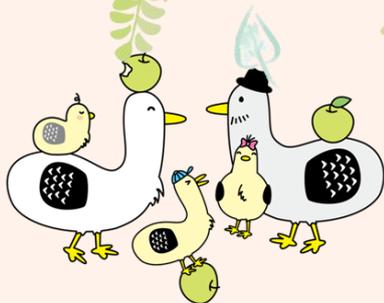
# 募集

松戸市役所は「松戸**市民**のために**役**立つ人のいる**所**」

市民にわかりやすく、利用しやすい市役所を目指しています。

約70名の保健師がさまざまな分野で活動しています。

市民の健康を一緒につくり、守りませんか？



# 保健師の主な

## 配属施設

### 中央保健福祉センター



### 松戸市役所 (本庁舎)



### 小金保健福祉センター

### 健康福社会館 (ふれあい22) 常盤平保健福祉センター



### 市立総合医療センター



## 松戸市紹介



都心から20km圏内。豊かな自然を残しながら、首都圏のベッドタウンとして発展しています。

人口：500,922人（令和7年3月31日現在）  
年間出生数：2,999人（令和6年度）  
高齢者人口：128,723人（令和7年3月31日現在）  
高齢化率：25.7%

# 配属先と施設

## 主な配属先

### 松戸市役所本庁舎

人事課 医務室	職員の健康支援
健康医療政策課	感染症・災害医療対策
指導監査課	社会福祉法人の認可及び指導監査
高齢者支援課	高齢者の介護予防及び認知症対策
地域包括ケア推進課	地域包括支援センターの総合調整及び後方支援 →詳しくは4ページ
子ども未来応援課	地域の子育て支援

### 小金保健福祉センター

こども家庭センター 母子保健担当室	母子の健康支援 →詳しくは2ページ
----------------------	----------------------

### 健康福祉会館（ふれあい22）

こども発達センター	障がいや発達に心配のある方（お子さん）の支援
-----------	------------------------

### 常盤平保健福祉センター

こども家庭センター 母子保健担当室	母子の健康支援 →詳しくは2ページ
----------------------	----------------------

### 市立総合医療センター

総合医療センター 健康管理室	職員の健康支援
-------------------	---------

### 中央保健福祉センター

健康推進課	成人高齢者の健康づくり →詳しくは3ページ
健康推進課 健康診担当室	成人のがん検診、特定健康診査等に関すること
こども家庭センター	子ども家庭相談
こども家庭センター 母子保健担当室	母子の健康支援 →詳しくは2ページ

## 統括保健師 紹介



【地域の特性を活かし、健康なまちづくりを推進する保健師になろう！】

松戸市には自分たちで策定した保健師活動指針や人材育成マニュアルがあり、新任期はもちろん、中堅期以降も、それぞれが目指す保健師像に向かってスキルアップできる体制となっています。人材育成のスローガンは「地域の特性を活かし、健康なまちづくりを推進する保健師になろう」。地域の健康を守る活動はやりがいがあります。

また、人や組織の成長のためには安心して働ける環境であることが大切です。松戸市では定期的に面談の機会があり、先輩や上司に相談できるのはもちろん、統括保健師も現場の声を聴かせてもらっています。

私は入庁31年になりますが、ワークライフバランスを充実させ、仕事を続けることができている。とても有難く、松戸市に入庁して良かったと思っています。保健師一同、新しい仲間が増えるのをお待ちしております。

# 親子を 支える

# 母子分野

## こども家庭センター母子保健担当室

● 妊産、出産、子育て期までの切れ目のない支援 ● 子ども総合計画(母子保健計画包含)推進

### 母子分野 主な業務

相談

訪問

健診

教室

健康  
教育

児童虐  
待予防

### 母子健康手帳交付

昭和47年から保健師が面接を実施しています。全ての妊婦に親子すこやかプランを作成し、ひとり一人に合わせて、妊娠・出産・子育てに関する母子保健・子育て支援サービスを紹介し、相談に応じています。

#### 松戸市親子すこやかプラン

松戸市では、お子さんの健やかな成長と子育てを支えるため、心、妊娠、出産、子育てを支えるための様々なサービスを行っています。

妊娠・出産 から子育て期全般相談  
★保健福祉センター：保健師、栄養士、産科衛生士が、母子の健康や育児、産後ケアについての相談を受けています。  
★親子すこやかセンター：保健師、社会福祉士、助産師が、妊娠中から母子保健・育児支援サービス等を利用できるような相談を受けています。

名称	電話番号	〒	所在地
中央保健福祉センター	047-366-7489	271-	松戸市竹ヶ沓 74-3



### 乳児家庭全戸訪問

生後4か月を迎える前までの乳児のいる全ての家庭に保健師・助産師が訪問。体重測定や保護者の様々な相談に応じています。産婦にはEPDS（産後うつ質問票）に回答していただき支援につなげています。また、産科医療機関とも密に連携しています。



訪問時にはまつドリが描かれた袋とともに絵本をプレゼント！



### 組織体制

全国に先がけ、平成28年度保健福祉センター内に親子すこやかセンター、平成29年度に子ども家庭総合拠点を同一課内に設置しました。

令和5年度には、2つの機能（母子保健機能・児童福祉機能）を有したこども家庭センターを設置し、妊娠期から子育て期における一体的相談支援体制の強化を図り、児童虐待の予防・早期発見・早期対応をしています。

こども家庭センター

#### 母子保健担当室（母子保健機能）

##### 保健福祉センター

- ・すべての妊産婦・乳幼児に対応
- ・母子保健事業の運営（幼児健診、ママパパ学級）

連携

##### 親子すこやかセンター

- ・保健師・助産師・社会福祉士が、妊娠から子育て期にかかわる様々な相談に対応

連携

##### 児童福祉機能

児童虐待や子育ての不安など、子どもや家庭に関する相談に対応



# 母子分野の若手職員



## 荻野 保健師

### 2年目

こども家庭センター母子保健担当室所属  
(常盤平保健福祉センター)

令和7. 4.1現在



### 松戸市に入ったきっかけは？

保健師になったら子育て支援がしたい！と思っていた私は、子育て支援に力を入れている市町村で働きたいと考えていました。縁もゆかりもありませんでしたが、県内トップで「共働き子育てしやすい街」として選ばれている松戸市を志望しました。

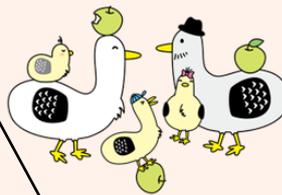


### 保健師になって良かったことは？

コロナ禍で思うように実習ができなかったこともあり、入庁してから初めて経験することばかりで不安な毎日でした。私の不安が解消されるまで、先輩保健師が時間をかけてご指導してくださり、少しずつですが成長することができています。大変なこともありますが、親子に関わる中で、保護者のホッとした表情が見れたり、お子さんの成長と一緒に喜べたりと、嬉しい瞬間に立ち会えるお仕事だなと感じています。

#### 12:15~13:00 昼休み

センターに戻り、昼食をとります。持参したお弁当を食べることが多いですが、お弁当屋さんにも頼むこともできます。



#### 13:00~15:00 訪問記録

訪問結果やアセスメント内容等を記録し、上司に確認していただけます。産後うつや虐待疑いがある場合など、必要時、カンファレンスを実施し、今後の方向性や他機関への連絡を検討します。

#### 9:30~12:15 家庭訪問・移動

担当地区の妊婦や乳幼児がいる家庭に、自転車や自動車で行きます。時にはこども家庭センターなどの、他職種職員と同行することもあります。

#### 15:00~17:00 担当事業の業務

センター内で市民健康相談室や発達相談事業の担当を任されています。担当事業の情報周知や物品補充、外部との連絡調整などを行います。

#### 9:00~9:30 準備

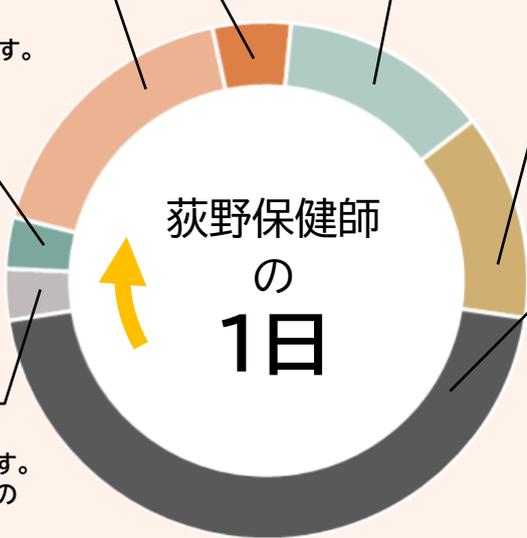
訪問計画を立て、必要な資料や物品を準備します。センターでの在席時には、電話や窓口対応も並行して行います。

#### 17:00~ 退勤後

日中できなかったケース記録や業務の事後処理などを17時以降に行うこともあります。明日のためにも、帰宅後は休息をしっかりとり、同期と外食でリフレッシュ、スキルアップのために勉強することもあります。

#### 8:30~9:00 ミーティング・資料確認

ミーティングでは、センター職員のスケジュールや連絡事項を共有します。メールチェックなどを済ませ、1日の段取りを組みます。



荻野保健師  
の  
1日

# 市民の健康づくり

## 健康推進課

● 健康まつど21(健康増進計画)の推進

● 地域の健康づくり

### 成人分野 主な業務

健康  
教育

健康  
相談

健康推進  
員育成

健診  
検診

自殺  
対策

フレイル  
予防

#### 健康教育・健康相談

地域に出向き、健康づくりに関する様々なテーマの講座を開催しています。

また、健康診査結果に基づく保健指導や禁煙相談などの個別支援を行っています。



#### 健康推進員育成

地域の健康づくりを推進する人材である健康推進員の育成を行っています。

ウォーキングマップの作成や、各地区で開催されるイベント会場での普及啓発など、地域に根付いた活動ができるよう支援します。



#### まつど健康ハッピーフェスタ

市民の健康づくり推進する企業・団体である[健康松戸21応援団]と協働し、子どもから大人まで、楽しみながら健康づくりを体験できるイベントを毎年開催しています。



健康松戸21マスコットキャラクター「けあら」

# 地域保健分野の若手職員



## 鈴木 保健師 2年目 健康推進課所属

令和7. 4.1現在

### 松戸市に入ったきっかけは？

大学での学びや看護師としての業務の中で、「病気になる前に予防する」ということの大切さを感じる機会が多くありました。自分が生まれ育った故郷で、人々が生き生きと自分らしく生活できるよう、健康づくりのサポートをしたいという思いから入庁しました。

### 入庁者へのメッセージをお願いします

保健師として活動するなかで、個人だけではなく集団を対象にした健康教育や、地域のイベントでの啓発など、市民の方と触れ合う機会が多くあります。また、地域の会議に参加したり、地域の組織や関係機関ともコミュニケーションをとる機会もあり、地域の方々とは信頼関係を築きながら仕事をする楽しさを日々感じています。時には悩むこともありますが、これから入庁する皆さんと一緒に私自身も成長していけたらと思います。

#### 10:30~12:15 健康相談

健康相談は随時受け付けています。継続支援が必要な方は、地区担当保健師が支援を行います。

#### 9:30~10:30 保健師会議

業務の進捗状況の共有や課題・今後の方向性の検討などを行っています。担当している業務で困っていることも相談できるので、一人で抱え込む心配はありません。

#### 8:30~9:30

朝礼・スケジュール確認・事務処理

班全体のスケジュールや連絡事項を共有します。メールや庁内電子掲示板を確認し、提出物等がないか確認をします。

#### 12:15~13:00 昼休み

#### 13:00~15:00 家庭訪問

ご本人やご家族、関連機関等からの相談を受け、支援が必要な方に対し家庭訪問を行っています。一人ひとりと向き合いながら、必要に応じてカンファレンスを実施し、その人に必要な支援を検討します。

#### 15:00~17:00

記録・資料作成・事務処理

家庭訪問や健康相談の記録、健康教育の企画書や使用する資料、実施後の報告書などを作成します。事務作業を行いつつも、電話相談や問い合わせなどの対応を行っています。

#### 17:00 退勤

帰宅後は読書や好きな音楽を聴くなど自分の好きなことをして、次の日に疲れを残さないよう過ごしてリフレッシュをしています。

鈴木保健師  
の  
1日



# 高齢者を支える 高齢者分野

高齢者支援課・地域包括ケア推進課・指導監査課

いきいき安心プランまつどⅧの推進  
(高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画)

生涯現役社会の実現・健康寿命の延伸  
地域包括ケアシステムの深化・推進

## 高齢者部門

社会参加  
就労支援

介護予防  
認知症施策

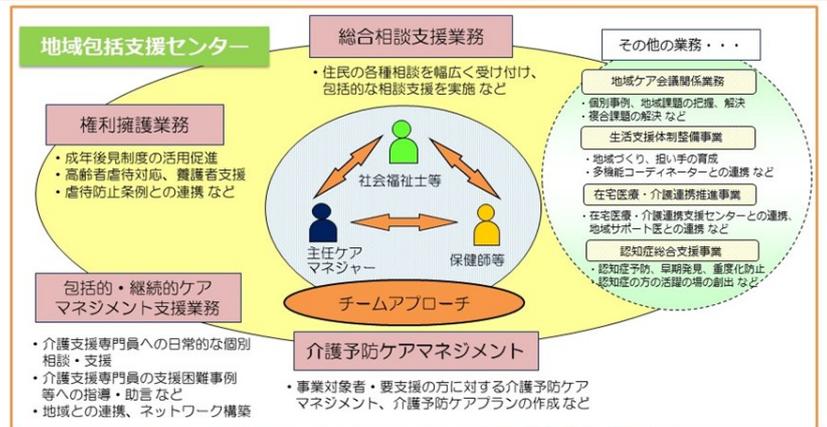
高齢者の  
総合相談

在宅医療介護  
連携推進

計画の企画・  
立案・進行管理

### ケース支援・後方支援(総合相談)

市内には15か所に地域包括支援センター(委託)が設置され、住民の身近な場で高齢者の支援を行っています。可能な限り、住み慣れた自宅や地域で生活し続けられるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援を包括的に確保する体制を推進しています。市の保健師は、社会福祉士や主任介護支援専門員と共に担当地区の総合調整や後方支援を行っています。



### 地域ケア会議(地域づくり)

担当地区の地域関係者や事業者等との地域課題の共有・課題解決、地域づくりの構築を進めています。多機能コーディネーター(地域包括支援センターに配置)と共に、防災対策や助け合いなど地域住民の支えあい活動の実現に向けて、地域ケア会議や2層ワーキングを通して、一緒に活動をしています。

### 個別支援(高齢者虐待を含む)

「老々介護」、「ダブルケア」、「8050問題」、「高齢者虐待」等、高齢者を取り巻く環境は困難化、複雑化しています。地域包括支援センターと共に担当地区のケースの進捗確認を行い、必要に応じて家庭訪問や関係機関の調整などを行っています。



松戸市虐待防止推進キャラクター「ハートはと」

### 介護予防

高齢者が社会的役割等の生きがいを持ち、身近な地域で過ごせるよう通いの場や介護予防教室の取組をはじめ、心身の状態に応じたサービス等を利用しながら自立支援を促進することで介護予防の推進を図っています。



### 認知症施策

認知症になっても安心して暮らせるまちを目指して、認知症サポーター養成講座や講演会、認知症予防教室等を通して認知症の普及啓発や早期発見、早期対応を進めるとともに、認知症の方が身近な地域で自身の持っている力を発揮できるような地域づくりを関係者等と連携しながら構築しています。



あんしん一歩運動キャラクター「オレンジ協力員」



# 高齢者分野の若手職員



## 山田 保健師

3年目

地域包括ケア推進課所属



### 松戸市に入ったきっかけは？

令和7. 4.1現在

社会人として働くようになってから、ご縁があって松戸市で住むこととなり、保健師として自分が住む街を、より住みやすい街にしていきたいと考え、松戸市の保健師を希望しました。



### やりがいは？

地域包括支援センターの後方支援という立場ではありますが、ADLの低下や認知症によって生活に困っていた高齢者の方が、適切な支援につながって、その人らしい生活を送っている事を確認できた時、やりがいを感じます。また、地域づくり活動の一環で、定期的に担当地区のごみ拾い活動に参加しており、市民の方と一緒に地区を良くしていく事に、充実感があります。



# 業務体制

地域の特性に応じた活動を推進するため、各分野においては業務分担制と地区分担制を併用しています。本市においても法改正の影響などにより保健師の分散配置が進み、直接的な市民への保健サービスだけではなく、政策への積極的な関与や、障がい、虐待などに関する福祉分野での活動にかかわるなど、その役割は広がってきています。

## 松戸市保健師連携推進会議

庁内の管理職保健師により構成される「松戸市保健師連携推進会議」を開催し、災害時保健医療活動や糖尿病対策等、包括的な地域保健体制の構築に向けた取り組みを推進しています。

# 人材育成・研修制度

松戸市では、新規採用職員に、入庁半年間はトレーナーと呼ばれる先輩職員が各職場で1対1につき、OJTシートにより各業務の習熟度を確認しながら育成を行います。仕事のことはもちろん、社会人の先輩としていろいろな相談もできるので安心です。

専門的能力の育成のためには、「新任保健師育成プログラム」により採用年度から3年間、スタッフ全員が協力して新任保健師育成に当たります。また、「松戸市における保健師の活動指針」により、松戸市の保健師活動の変遷や現状、今後の保健師としての活動の方向性について共通認識を図っています。さらに、「松戸市保健師現任教育マニュアル」を基に、OJT（職場内研修）、OFF-JT（職場外研修）、自己啓発、ジョブローテーションを4本の柱として、新任期、中堅機、管理期において保健活動到達状況チェックリストを活用し、保健師の活動領域ごとに求められる能力の獲得に向けて、業務を行っています。

研修については、庁内の「公務員倫理」「財政・会計」等の行政職員としての研修の他、専門職として、千葉県主催の階層別研修や外部研修等への参加を通して必要な能力・技術を習得できます。

## 松戸市職員採用情報ページ

<https://www.city.matsudo.chiba.jp/shisei/soumu-saiyou/syokuinsaiyou/index.html>

